



違反対象物ゼロを 目指すための減らす取り組みと 増やさない取り組み



岐阜県 多治見市消防本部

事例類型	Ⅳ他団体との連携／Ⅴ人材育成
取組期間	平成30年1月から

背景

平成28年度中に管内の特定防火対象物に対する重大違反及び防火管理者未選任に対する違反是正の目処が立ったため、次は、管内に200件以上存在する工場及び倉庫の非特定防火対象物の重大違反に取り組むことになった。当管内は陶磁器製造等が地場産業であり、生産優先のため消防法や建築基準法に対する認識が低く、違法とも思われる増改築が行われているという地域独特の背景がある。

そのため、これらの重大違反に取り組む前に、消防職員の違反処理能力の向上と同時に、これ以上違反対象物を増やさないための取組を始めた。

内容

消防職員の査察及び違反処理能力を向上させるため、毎月、勉強会を開催した。勉強会の内容は、消防法令、消防用設備等の設置基準、無窓階判定、違反処理での質問調書作成など、違反処理現場を想定したシミュレーション訓練を交えて実施した。

実際の査察業務（OJT）及び勉強会で得た知識を試すために、職員が予防技術検定に挑戦する環境を整え、さらに検定合格者に対してインセンティブを与えるため予防技術消防章（バッジ）を交付する制度を制定した。

重大違反を無くすために消防職員の違反処理能力をいくら向上させても、必要な手続きを経ずに繰り返される建物の増改築及び接続を止めなければ、いつまで経ってもいたちごっこである。その流れを断ち切るために、一般社団法人岐阜県建築士事務所協会東濃支部と連携を開始した。



【予防技術消防章】 予防技術消防章（金、銀、銅）

成果

勉強会を通じて、予防技術の伝承が図られ、また、違反調査を想定したシミュレーション訓練を繰り返し実施したこともあり、実際の違反処理調査で漏れが生じることなく違反処理を進めることができるようになった。職員の意識も変化し、違反対象物の担当となった職員は、是正完了するまで諦めないという強い姿勢を身に付け、自信をもって違反是正の指導に当たるようになった。

査察及び違反処理のOJTや勉強会の機会を通じて、予防技術検定に挑戦する職員が増えた。さらに、予防技術資格者の認定等に関する規程を制定し、合格者に認定証と予防技術検定合格数に応じて予防技術消防章（金、銀、銅）を交付する制度を開始したため、職員は3科目認定者に交付される予防技術消防章（金）を目指して自己研鑽に取り組んでいる。

消防法令違反の対象物の関係者に対して、協会に属する消防法令違反に対応できる建築士の一覧を配布することにより、早期是正できる環境を整えると同時に、査察の際にも、関係者に対して建物の増改築及び接続する場合には、消防又は建築士に相談するよう説明し、建築士の一覧の配付を行うなど、違反対象物を増やさない体制の構築によって消防法違反の抑制が図られている。



【予防技術消防章の着用イメージ】

特記事項

消防職員110人程度の消防本部で200件を超える違反対象物と向き合い、違反対象物がゼロのまちを目指すため、消防本部の予防担当者だけでなく、隔日勤務の予防担当者も違反処理を行うこととした。職員一人一人が違反処理能力を高めるため、非番日の勉強会にも積極的に参加しており、その結果、平成30年度の4月から9月までの6か月間で、命令3件、警告14件を交付、重大違反を22件是正するなど違反処理と正面から向き合っており取り組んでいる。

また、平成31年2月に岐阜市消防本部と春日井市消防本部から違反是正アドバイザーを迎え、近隣6消防本部（県内は土岐市、瑞浪市、恵那市及び中津川市、愛知県内は春日井市及び瀬戸市）とで違反是正事例発表会を開催し、建築士が間に入り違反是正した事案を発表した。